

～学校組織マネジメント共同研究実践事業委嘱校の実践から～

# モラルの形成を高めて 学校のチームカアアップ



「学校組織マネジメント共同研究実践事業」は、総合教育センターが学校組織マネジメントを実践する校長の取組を、年間を通して支援する事業です。

このリーフレットでは、平成27年度に授業改善への取組を通して教職員のモラルの形成を高めた委嘱校の実践を紹介します。一人一人の力が生かされた更なる「チーム学校」になるための資料として御活用ください。

平成27年度委嘱校 庄瀬小学校 光晴中学校

※「モラルの形成」とは、共通目標の実現のために、集団内の構成員一人一人に積極的に参画しようとする意識・態度をもたせること。

# 職員のモラールを引き出す庄瀬小の挑戦

## 子どもの「できた」という喜びの声と笑顔こそ教師のエネルギーの源

### しかし学校の実態は…

**児童**…算数の授業はよく分かるが、算数の勉強はあまり好きではない。

**職員**…「児童が意欲的に取り組む学習課題を作ることができない」「児童に見通しをうまくもたせることが難しい」。

**校内体制**…一人の教師が複数の校務分掌を担当し教材研究の時間がない。授業のことを相談する同学年の担任がいない。しかも、研修時間を確保し指導案を検討してもイメージしている授業像が違う。話し合っているうちに授業の本質が見えなくなる。

これらの課題に対し、これまでの校内研修は、全職員が見通しをもてる研修の進め方が不明確であり、授業公開を終えても成果を十分共有できず、組織的な取組になっていなかった。

## 校長「どうしたら、職員の意欲を引き出し、授業力を高める研修ができるだろうか？」

### 研修の見える化

職員一人一人が「このやり方なら自分も積極的に参加できる」「これなら1年間の見通しが立つ」と納得できる研修の進め方を提示し、成果を共有しながら進める。

研修内容の重点化と成果の共有

1年間の流れの確認

## 校長のマネジメント 見える化 その1 研修内容の重点化と成果の共有

年度当初、前年度の成果と課題をもとに「どのような子どもを育てたいか」「そのためにどのような授業を行うか」について校内研修をし、ファシリテーションで意見を出し合った。その後、以下の5点を基本とした研修を行い、全員が主体的に参加できる研修を目指した。

### 1 焦点化した授業づくり

- 質の高い学習課題の工夫、見通しのもたせ方
- 単元の導入時における60分授業の提案
- ・全児童がわかる授業を目指し丁寧な指導を行うために単元によっては60分とした。



#### 成果の共有 ①

事前検討会で話し合われた内容を、指導案の作成に生かし、授業研究に臨む。

### 2 事前検討会に重点をおいた研修

- 構想カードと板書計画を基にした模擬授業形式の事前検討
- 外部講師（マイスター等）の招聘

### 3 事前検討会後に指導案を作成



### 4 全員参加の協議会

#### 成果の共有 ②

協議会では協議題に沿いファシリテーションで自由に意見交換を行う。



#### 成果の共有 ③

研究主任が研推だよりを発行。成果と課題の確認をして、次の授業に生かす。

### 5 研推だよりで確認

## 校長のマネジメント 見える化 その2 1年間の流れの確認

初めに全職員で師範授業を参観して目指す授業のイメージをつかむ。その後、授業研究を進めながら、児童アンケートの結果（7月）を基に授業の見直しを図り、後半の授業研究につなげていくことを年度当初に確認した。

5月

マイスターの  
師範授業参観

よい授業を見て  
目指す授業のイ  
メージをつかむ。

6~7月

授業公開

算数の勉強が  
好きと答える  
児童が増えな  
いのはなぜか。

8月

研修の中間検討  
県内外研究会参加



9~1月

授業公開  
県内外研究会参加

良質な課題を追究し課題提示までの時  
間をコンパクトにする。見通しのもた  
せ方は既習内容との比較から児童の困  
り感を発表させる。



2月

まとめと次年度の検討  
南区に授業公開



### その結果…

#### 児童は算数の勉強が好きになったのか。

積極的に話し合うなど児童が主体的に授業に参加する姿が見られた。

(新潟市生活学習意識調査)

質 問 項 目	H27自校	市平均	増減	H26自校	増減
31 算数の勉強が好きです	87.4%	72.1%	+15.3	78.0%	+9.4
39 授業で自分の考えを進んで発表しています	91.6%	64.5%	+30.1	90.0%	+1.6
40 授業でペアやグループで話し合う活動は好きです	95.8%	83.6%	+12.2	91.7%	+4.1

#### 教師の授業力は向上したのか。

1月下旬に実施した職員研修アンケートでは、今年度の研修が充実していたことを示すアンケート結果が得られた。

このほかにも、マイスターによる師範授業が子どもを動かす技術を実感できる場になった、事前検討に外部講師を招聘したことでどのような準備をして授業に臨めばよいか分かったなどの意見が出された。

##### 1 職員研修の充実度

ア 充実していた 100%

イ もう少しだった 0%

判断した理由：外部講師の方を招聘し、専門的にご指導をいただけたから  
全員が参加したから

みんなが本気になって研修したから

##### 2 自分の授業力の向上

ア 向上した 100%

イ 向上していない 0%

判断した理由：課題の精選を意識するようになった

昨年度より授業がスムーズにいくようになった

見通しをもたせると授業がうまくいく時が増えた気がする

課題の提示、正対したまとめに昨年より多数取り組むことができた

## 成果と課題

- 事前検討会に重点を置くことにより、職員一人一人の授業を見る視点が鋭くなり、協議会が活性化した。また、学級便りに授業の板書を載せたり、児童のノートを紹介したりするようになり、職員が授業に前向きに取り組む姿勢が見られた。
- 事前検討会に外部講師を招聘することで、教材の価値や授業のねらいを明確にすることができた。その一方で、講師に頼りがちになる傾向も見られた。
- 単元の始めから学習内容が分からない児童をつくらないために、単元の導入を大切に60分授業を試みた。学習課題の提示までに時間を取り過ぎないで、課題提示後の活動を充実させる学習過程を組むことが必要である。

校長 本多 郁代



# 生徒も教師も「達成感」と「自己有用感」を実感できる学校

## 授業改革を通して生徒が変わる！その成果を教師が実感！ そしてモラルの向上！

授業改革に向け、全職員で協働的に取り組む。その取組による生徒の変容が、教師に「達成感」「自己有用感」を実感させ、モラルの向上とさらなる授業改革へとつながる。

### ◆ 授業改革を通して生徒が「わかる」「できる」授業の実現 ◆

「学習課題は示されている」が、「授業が面白くない」「授業がわからない」。

H26 市生活学習意識調査	「学習課題が示されている」	市平均	+14.3%
	「授業が好き（教科平均）」	市平均	-1.1%
	「授業が分かる（教科平均）」	市平均	-5.7%

授業改革に向けたさらなる意欲の向上

### そこで今年度は

生徒に「わかった」「できた」という実感をもたせるために、問題解決型授業を全職員で意図的・計画的に実践する。

- ① 学習課題の「質」の向上
- ② 『学習課題』『自分で考える』『学び合い』『まとめ』プレートを活用した授業

### 生徒の変容

### ◆ 教師が「達成感」・「自己有用感」を実感 ◆

### ◆ 教師のモラルの向上 ◆

## STEP1 目指す授業像の共有

### 1 育てたい生徒の力と目指す授業像について（5月）

生徒の意欲を引き出すための課題が大切だね！

【ファシリテーションで意見を出し合う】

- ・生徒にとって「楽しい」「わかる」授業とは？
- ・目指す授業実現のための手立てとは？

基礎学力を身に付けさせなくちゃ！



### 2 東京都北区立飛鳥中学校への授業視察（5月）

- ・校長・教務主任・研究主任で視察。

学習規律の徹底こそ大切だ！

#### 飛鳥中学校 研究主題

『問題解決型授業を活用した主体的な学習能力と自己評価能力の育成』

～問題解決型4ステップ+自己評価～

- ① 「問題把握」 - ② 「自力解決」 - ③ 「全体検討」 - ④ 「まとめ」

### 3 目指す授業像について（6月）

- ・問題解決型の授業を計画的に取り入れること。『自分で考える』『学び合い』プレートの活用。

（子どもたちに）プレートを活用すると見直しもさせやすい。

【授業の流れ】 「学習課題」 → 「自分で考える」 → 「学び合い」 → 「まとめ」



### 4 モデル授業の実施（7月・8月）

- ① 研究主任による公開授業 2年生数学（7月）
- ② 理科マイスター教員による模擬授業（8月）

## STEP2 全職員で授業実践

### 1 授業構想・指導案検討会（8月・10月）

他教科の授業を生徒の立場で見ると…

学校支援課計画訪問に向け、教科の枠を超えた3グループによる授業構想の検討。（授業構想カードを活用）



### 2 全職員による公開授業（11月）

- ① 学校支援課計画訪問 全学級で公開
- ② 市中教研一斉研修（数学） 2クラス公開
- ③ 指導者を招聘しての教科代表者による授業研究  
国語・社会・理科・英語の代表者による授業

## STEP3 今年度の振り返りと次年度に向けて

### 1 今年度の取組を振り返って（12月・1月）

#### ◆ 生徒の声から 「好き」「分かる」が増加！ 授業も着実に変化！

「授業が好き」（教科平均）  
前年度比 +2.6%  
「授業が分かる」（教科平均）  
前年度比 +8.9%

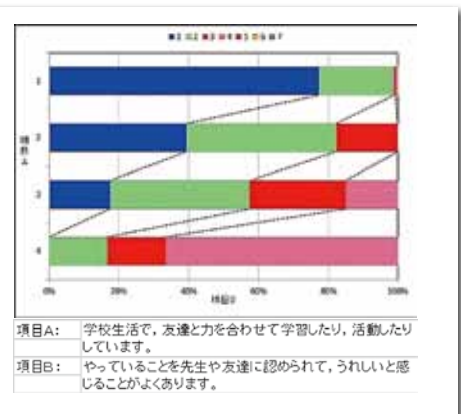
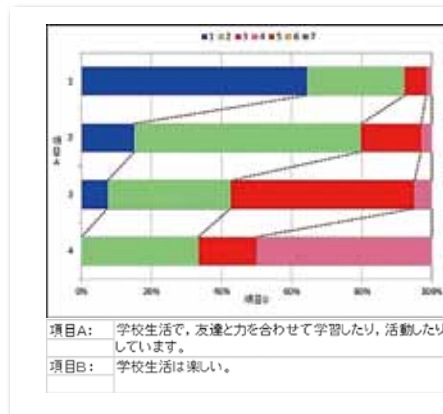
「授業でペアやグループで話し合う活動が好き」  
前年度比 +15.0%  
「普段の授業では友達同士で話し合う活動を行っていることが多い。」  
前年度比 +12.1%

#### ◆ 職員の声から

- 「生徒が積極的に自分の考えを班や全体で発表できるようになった。また、自分で考える習慣も身に付いてきた。」
- 「問題解決型の授業をつくるのが難しい。知識が定着しているのか疑問。粘り強く考えられない生徒にどう対応すればよいのか。」

### 2 次年度に向けて（1月・2月）

クロス集計から協働的な学習に前向きに取り組んだ生徒は「自己有用感」や「学校満足度」が高い傾向にある。「学び合い」の効果を高めるための手立てについて全職員でファシリテーションを活用して意見を出し合った。



## 成果と課題

日頃の授業を見ていると、講義形式の授業からグループで話し合う活動を取り入れた授業を見ることが多くなってきた。徐々にではあるが、着実に授業は変わってきている。

その結果、授業が変わる中で生徒に下記のような変容が見られる。これは全職員で目指す授業像を共有し、協働して計画的に授業改革に取り組んだ成果であると考えられる。

「学校で学んだことを普段の生活の中で役立てています」 前年度比 +14.2%  
 「学習や生活のめあてをもって毎日を過ごしています」 前年度比 +15.0%  
 「学校生活は楽しい」 前年度比 +10.8%

今後、学習課題の質の向上や「学び合い」の場面の工夫を図りながら、全職員でさらなる授業改革を進めていきたい。

校長 田村 祐一

学校組織マネジメント共同研究実践事業はこんな流れで進めてきました！

委 嘱 校 の 取 組

センターの支援

目指す学校像を実現するためにはどうすればいいか？

庄瀬小学校

教職員のモラルを高めることで  
ビジョンの実現をめざそう。

光晴中学校

スタートは、  
校長の学校経営ビジョン

- どのような子どもを育てたいか考える。(ファシリテーション)
- 今年度の研究の方向を確認

4月

さあ、校長の  
マネジメント力発揮！

- 学校経営方針の確認  
「達成感と自己有用感を実感できる学校」

- 校長のビジョンの明確化と実現のための手立てを共に考える。

- 講師を招いてのUD研修

5月

よい指導者は？  
実践例はないか？

- 生徒が達成感と自己有用感を実感できる授業とは？(ファシリテーション)
- 東京都北区飛鳥中学校視察  
校長・教務主任・研究主任

- ・ 校内研修の充実
- ・ ミドルリーダーの育成
- ・ 学年部、教科部の取組から

- 事前検討①  
3年生「たし算とひき算」

6月

ゴールを見据えて  
取組の継続

- 授業力向上研修推進計画協議①

- 先進校の取組や実践事例に関する情報提供

- 研究授業①  
3年「たし算とひき算」

7月

指導者・講師の  
アドバイス

- 授業力向上研修推進計画協議②
- 研究主任によるモデル授業  
問題解決型授業とプレートの活用

- 講師招聘のための経費支援

- 事前検討②  
2年生「水のかさ」

8月

- 講師を招聘しての授業のユニバーサルデザイン化研修

- 市外・県外視察のための経費支援

- 研究授業②  
2年生「水のかさ」

- 筑波大学附属小学校研究会参加  
研究会参加報告：校長

9月

教師が変わる！

- マイスターによるモデル授業  
問題解決型授業とプレートの活用

- 授業構想検討会

- 事前検討③ 6年「速さ」

10月

授業が変わる！

- 中間評価会議  
(ファシリテーション)  
組織的な取組による授業力の向上

- 担当指導主事の定期的な訪問  
・ 校長の学校経営に関わる悩み等への相談
- ・ ミドルリーダーへの働きかけ
- ・ 職員への講話等を実施

- 事前検討④ 3年「小数」

- 研究授業③ 6年「速さ」

- 事前検討⑤ 5年「体積」

11月

子どもが変わる！

- 指導案検討会
- アクティブ・ラーニングについての講義

- 授業研究指導のための指導主事派遣

- 研究授業④ 3年「小数」

- 事前検討⑥ あおば学級

- 研究授業⑤ 5年「体積」

12月

- 新潟市教育委員会計画訪問
- 新潟市中教研一斉研修(数学)
- 研究授業① 社会
- 研究授業② 国語
- 研究授業③ 英語
- 研究授業④ 理科

- 研究授業⑥ あおば学級  
「コンビニへ行って買い物をしよう」

1月

- 北区小中学校教員一斉研修で  
取組概要を発表

- 事前検討⑦ 1年「かさくらべ」

- 事前検討⑧  
4年「直方体と立方体」

- 研究授業⑦ 1年「かさくらべ」  
(南区公開授業)

- 研究授業⑧ (南区公開授業)  
4年「直方体と立方体」

2月

成果の共有

- 取組の成果と課題について評価会議  
(ファシリテーション)

- 今年度の反省と次年度の  
研究の方向確認

3月

- 今年度の反省と次年度の研究の  
方向確認

- リーフレット作成の支援

学 校 組 織 マ ネ ジ メ ン ト へ の 支 援

学校のチーム力アップ